

2021年度（令和3年度）  
「福山市子ども・子育て支援事業計画」の実施状況

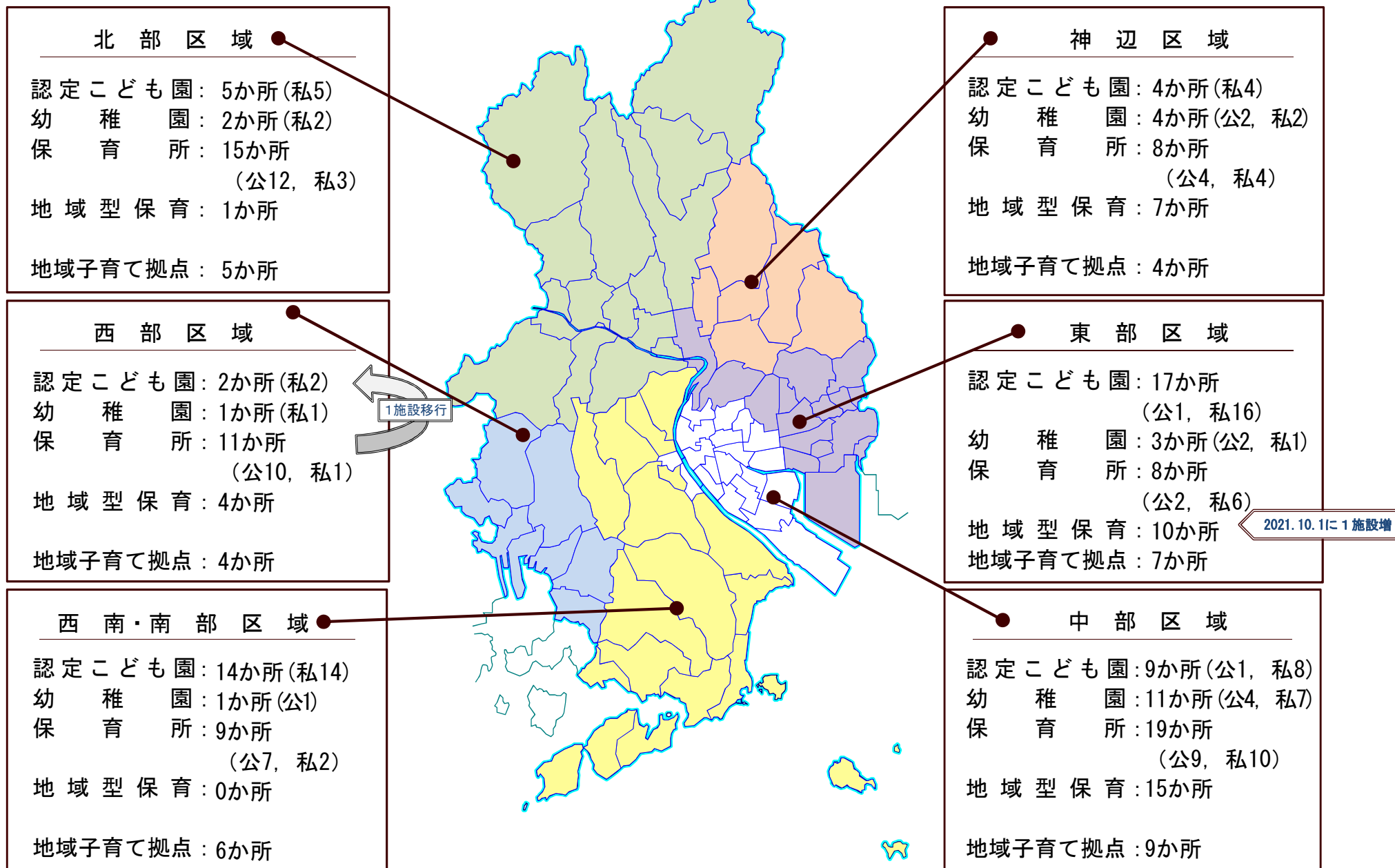
計画期間：2020年度（令和2年度）～2024年度（令和6年度）

- ・教育・保育の量の見込みと確保方策について
- ・地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

# 教育・保育の量の見込みと確保方策について

2022年（令和4年）4月1日現在

○区域別の子育て支援サービスの状況



1号認定+幼児期の学校教育の利用希望が強い児童（認定こども園・幼稚園）

(単位：人)

(単位：人)

○量の見込み

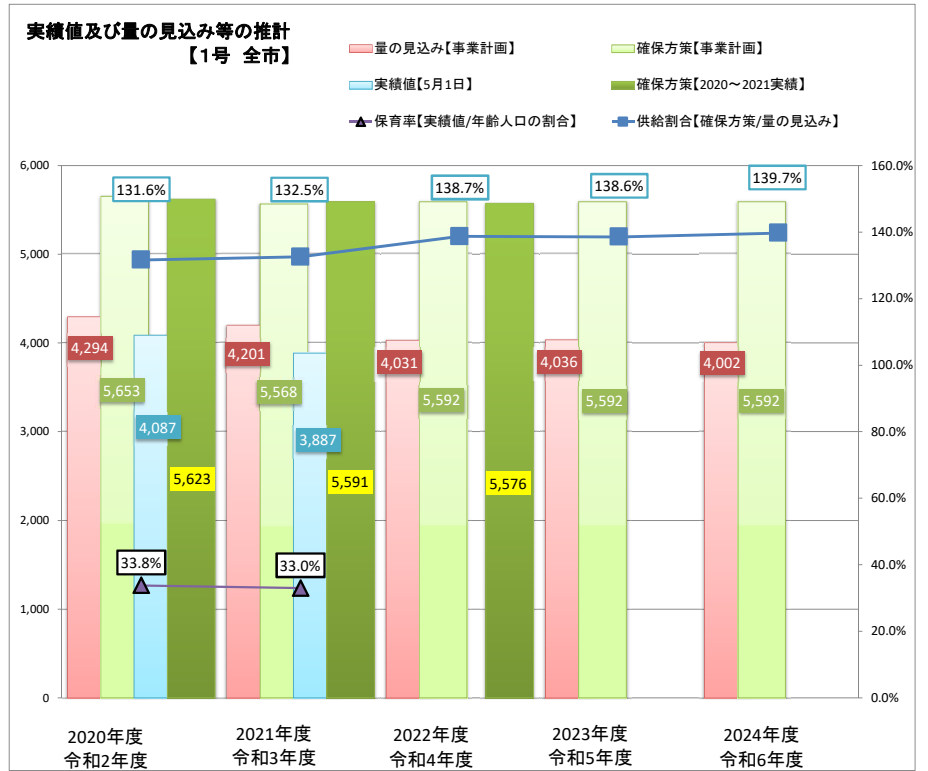
区分	2021年度 事業計画 (A)	2021年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	
3～5歳人口	11,823	11,776	△ 47	
1号認定	4,111	3,887 (他市町の子どもを含む)	△ 314	
幼児期の学校教育の利用 希望が強い児童	利用量			
他市町の子ども	府中市			20
	尾道市			40
	井原市			20
	笠岡市	10		
合計	4,201	3,887	△ 314	

2022年度 事業計画 (C)
11,336
3,941
府中市 20
尾道市 40
井原市 20
笠岡市 10
4,031

○確保方策

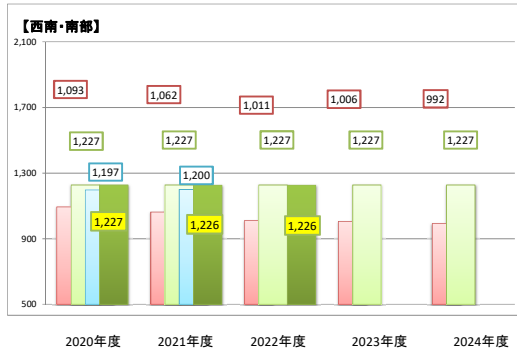
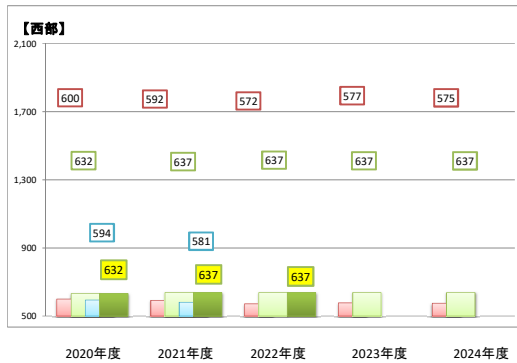
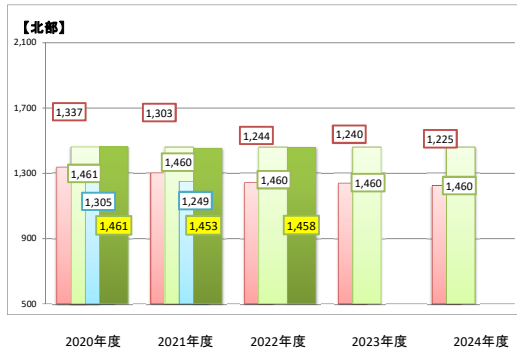
区分	2021年度 事業計画 (A)	2021年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)
特定教育・保育施設 (確認を受ける施設)	3,743	3,596	△ 147
確認を受けない幼稚園	1,795	1,995	200
他市町の幼稚園	尾道市 30	30	0
合計	5,568	5,621	53

2022年度 事業計画 (C)
3,767
1,795
尾道市 30
5,592



●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
特定教育・保育施設 (確認を受ける施設)	2,620	3,596	976
確認を受けない幼稚園	1,267	2,025	758
実績値 合計	3,887	5,621	1,734



○量の見込み

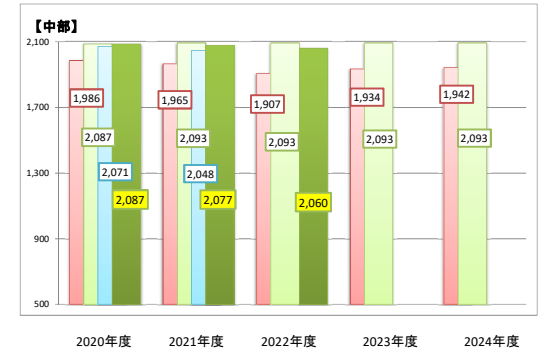
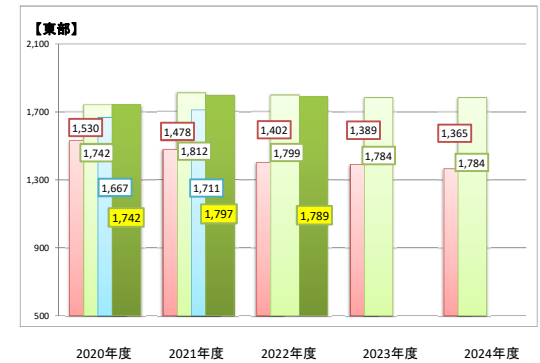
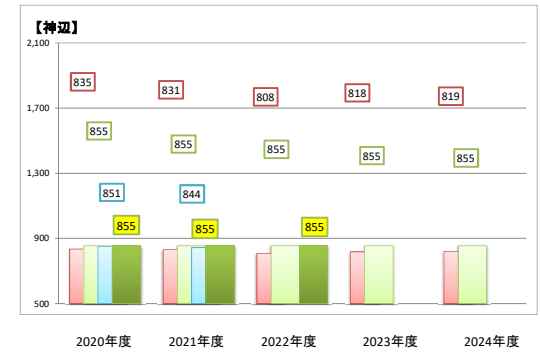
区分	2021年度 事業計画(A)	2021年度 実績値(B)	計画値との差 (B) - (A)	2022年度 事業計画(C)
3～5歳人口	11,823	11,776	△ 47	11,336
東部	1,478	1,711	233	1,402
中部	1,965	2,048	83	1,907
北部	1,303	1,249	△ 54	1,244
神辺	831	844	13	808
西南・南部	1,062	1,200	138	1,011
西部	592	581	△ 11	572
利用量合計	7,231	7,633	402	6,944

○確保方策

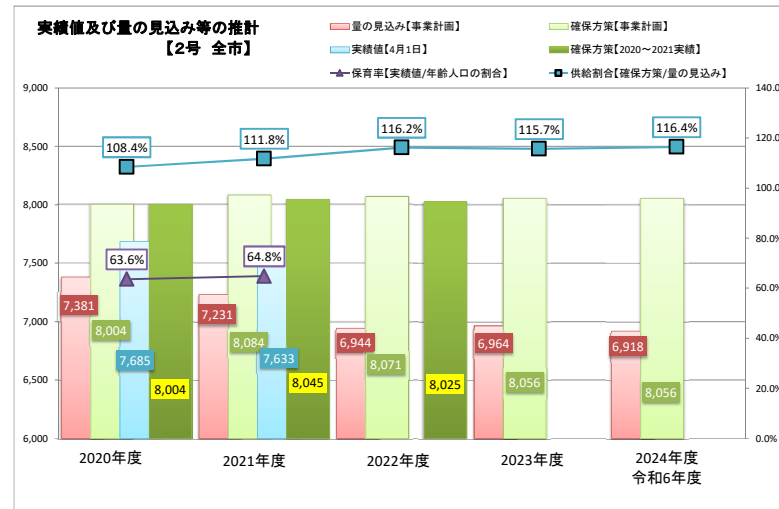
区分	2021年度 事業計画(A)	2021年度 実績値(B)	計画値との差 (B) - (A)	2022年度 事業計画(C)
特定教育・保育施設	8,084	8,045	△ 39	8,071
東部	1,812	1,797	△ 15	1,799
中部	2,093	2,077	△ 16	2,093
北部	1,460	1,453	△ 7	1,460
神辺	855	855	0	855
西南・南部	1,227	1,226	△ 1	1,227
西部	637	637	0	637
合計	8,084	8,045	△ 39	8,071

●実績値比較

区分	利用量(a)	確保方策(b)	差(b)-(a)
実績値	7,633	8,045	412



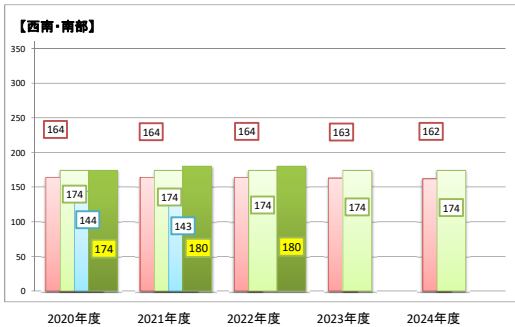
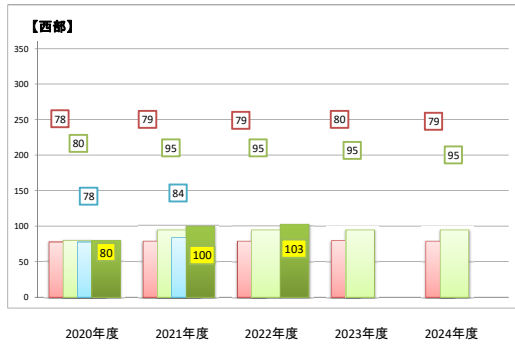
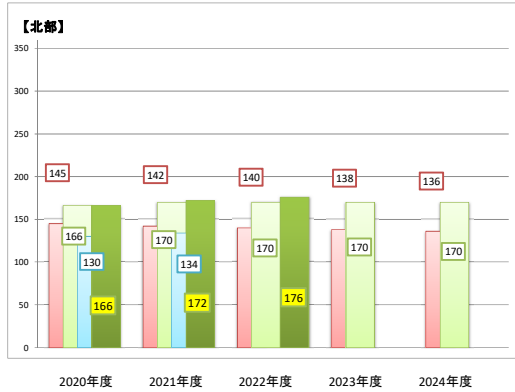
実績値及び量の見込み等の推計  
【2号 全市】



3号認定【0歳】（認定こども園・保育所・地域型保育事業）

（単位：人）

※ 当該年度の3月1日の0歳児入所児童数に100/120を乗じた数値



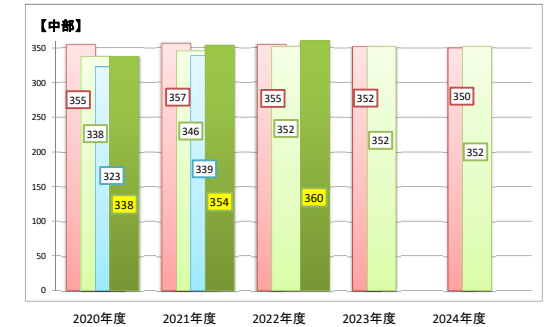
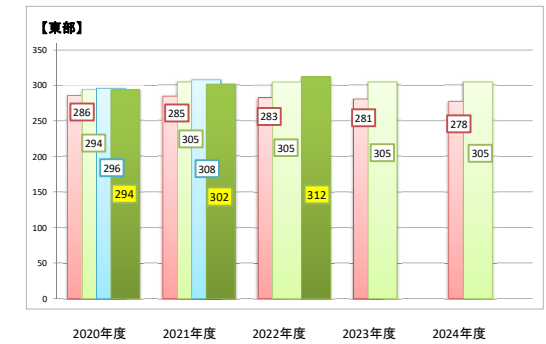
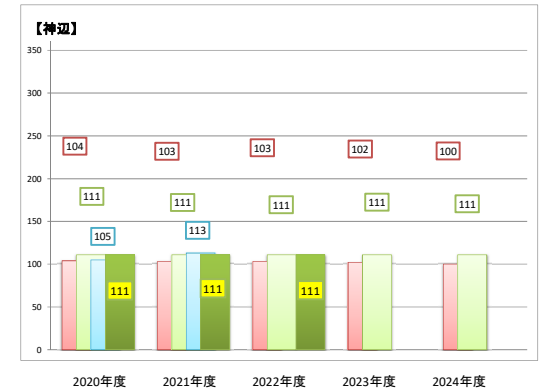
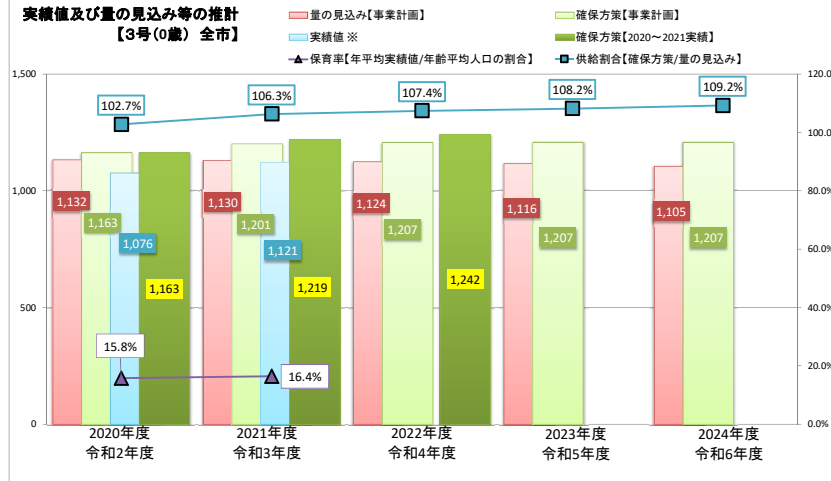
○量の見込み ※

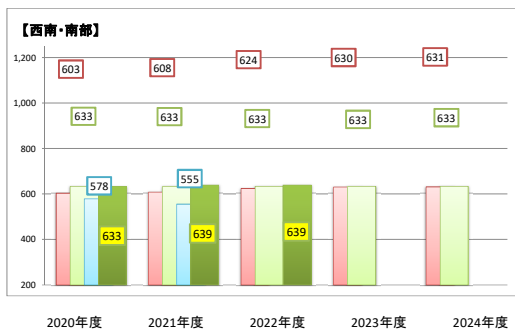
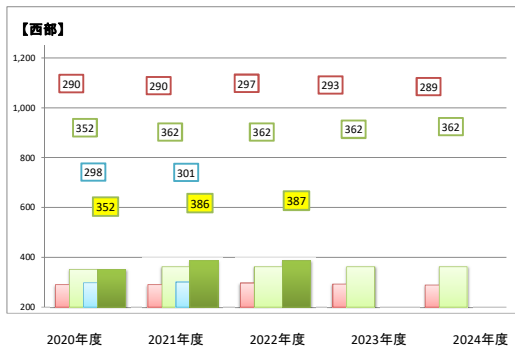
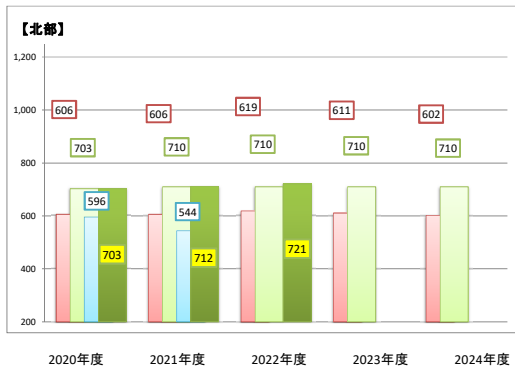
区分	2021年度 事業計画 (A)	2021年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2022年度 事業計画 (C)
0歳人口	3,784	3,429【4月1日】 5,155【年平均】	△ 355 -	3,716
利用量	1,130	1,121	△ 9	1,124
東部	285	308	△ 23	283
中部	357	339	△ 18	355
北部	142	134	△ 8	140
神辺	103	113	10	103
西南・南部	164	143	△ 21	164
西部	79	84	5	79
利用量合計	1,130	1,121	△ 9	1,124
○確保方針				
特定教育・保育施設	1,092	1,095	3	1,092
東部	278	273	△ 5	278
中部	280	282	2	280
北部	170	170	0	170
神辺	103	103	0	103
西南・南部	174	180	6	174
西部	87	87	0	87
特定地域型保育事業	109	124	15	115
東部	27	29	2	27
中部	66	72	6	72
北部	0	2	2	0
神辺	8	8	0	8
西南・南部	0	0	0	0
西部	8	13	5	8
合計	1,201	1,219	18	1,207

●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方針 (b)	差 (b) - (a)
実績値	1,121	1,219	98

実績値及び量の見込み等の推計  
【3号(0歳) 全市】





○量の見込み

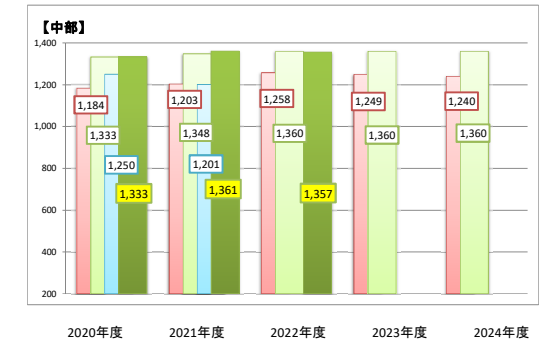
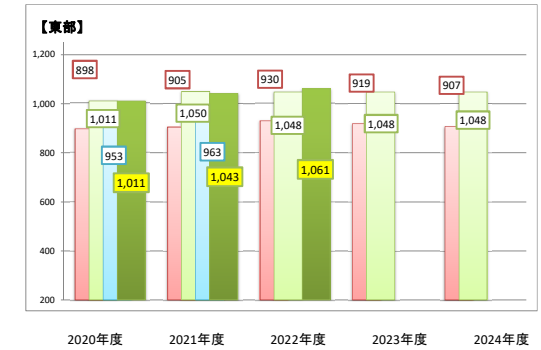
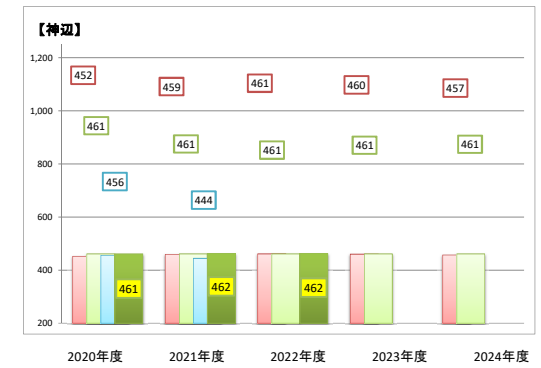
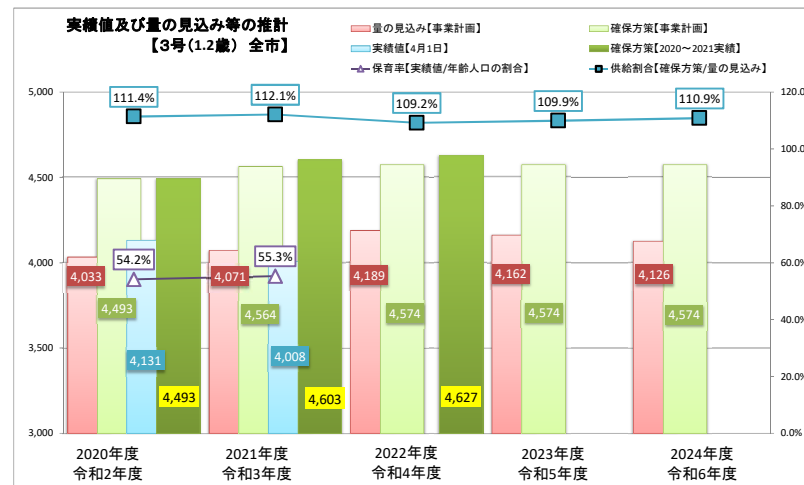
区分	2021年度 事業計画 (A)	2021年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2022年度 事業計画 (C)
1・2歳人口	7,576	7,251	△ 325	7,701
東部	905	963	58	930
中部	1,203	1,201	△ 2	1,258
北部	606	544	△ 62	619
神辺	459	444	△ 15	461
西南・南部	608	555	△ 53	624
西部	290	301	11	297
利用量合計	4,071	4,008	△ 63	4,189

○確保方策

区分	2021年度 事業計画 (A)	2021年度 実績値 (B)	計画値との差 (B) - (A)	2022年度 事業計画 (C)
特定教育・保育施設	4,286	4,279	△ 7	4,284
東部	972	962	△ 10	970
中部	1,196	1,195	△ 1	1,196
北部	710	708	△ 2	710
神辺	434	434	0	434
西南・南部	633	639	6	633
西部	341	341	0	341
特定地域型保育事業	278	324	46	290
東部	78	81	3	78
中部	152	166	14	164
北部	0	4	4	0
神辺	27	28	1	27
西南・南部	0	0	0	0
西部	21	45	24	21
合計	4,564	4,603	39	4,574

●実績値比較

区分	利用量 (a)	確保方策 (b)	差 (b) - (a)
実績値	4,008	4,603	595



地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画 番号	事業名	2021年度 事業計画	2021年度実績		2022年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】
			実績内容	実績値		
①	利用者支援事業 [子育て世代包括支援センター事業]	量の見込み 実施か所数(か所) 13 確保方策 実施か所数(か所) 13	●妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援を行うために総合的な相談窓口である子育て世代包括支援センター(福山ネウボラ相談窓口)を設置し、相談や情報提供を行う。関係機関とネットワークを構築し、連絡調整を行う。 ●福山ネウボラ相談窓口「愛称:あのね」実施箇所 13か所 ・ふくやま子育て応援センター ・保育所・認定こども園6か所 ・保健事業実施課5か所 ・ぬまくま子育て支援センター	実績値 実施か所数 13	量の見込み 実施か所数(か所) 13 確保方策 実施か所数(か所) 13	1-(1)-①
②	地域子育て支援拠点事業	量の見込み 利用量(人日/年) 244,370 確保方策 実施か所数(か所) 35 【参考】提供可能量 245,000	●「キッズコム」や地域の拠点保育所が連携し、家庭で子どもを保育している保護者とその子どもを対象に、遊び場の提供、相談・援助、子育て情報の提供、子育て講座を実施した。また、家庭訪問を行い、気軽に相談できる体制を図った。 ●地域子育て支援拠点実施か所(35か所) 一般型 6~7日型 市立(キッズコム) 1か所 私立(いくたす) 1か所 5日型 市立 6か所 私立 4か所 3~4日型 私立 23か所	実績値 実施か所数(か所) 35 利用量(人日/年) 109,501	量の見込み 利用量(人日/年) 245,600 確保方策 実施か所数(か所) 36 【参考】提供可能量 252,000	1-(2)-②
③	妊婦健康診査	量の見込み 対象人数(人) 3,846 健診回数(回) 13.0 延受診件数(件) 47,309 確保方策 延受診件数(件) 47,309	●妊婦一般健康診査及び検査受診票を1回の妊娠につき、妊婦一般健康診査補助券14枚、妊婦一般健康診査検査券1枚、子宮頸がん検診受診券1枚、HTLV-1検査を1枚、クラミジア検査受診券1枚を交付した。	実績値 延受診件数(件) 44,422	量の見込み 対象人数(人) 3,777 健診回数(回) 13.0 延受診件数(件) 46,457 確保方策 延受診件数(件) 46,457	2-(1)-④
④	こんにちは赤ちゃん訪問事業 (乳児家庭全戸訪問事業)	量の見込み 訪問件数(件) 3,784 確保方策 訪問件数(件) 3,784	●2008年度から実施しており、2021年度は、訪問対象3,428件に対し、訪問実績は3,035件(88.5%)となった。 [キラキラサポーター:子育て支援ボランティア894件、育児家庭訪問員918件、保健師1,223件] ●訪問時には「子育て安心ファイル」により、予防接種の受け方や「あのね」等の相談窓口の紹介を行った。	実績値 訪問件数(件) 3,035	量の見込み 訪問件数(件) 3,716 確保方策 訪問件数(件) 3,716	2-(1)-⑨
⑤	養育支援訪問事業	量の見込み 訪問件数(件) 122 確保方策 訪問件数(件) 122	●育児家庭訪問員指導員(保健師、助産師、保育士などの有資格者)が訪問し、育児支援するとともに、要支援家庭については学区担当保健師と連携した。 ●こんにちは赤ちゃん訪問事業などで、育児支援が特に必要と判断した家庭を訪問し、育児などに関する指導・助言などを行うことにより、家庭における適切な養育ができるように支援した。 ●2020年度10月より、委託事業所のヘルパーを派遣する、育児家事援助を開始した。	実績値 訪問件数(件) 114 専門的相談支援(保健師・育児家庭訪問指導員) 113 育児家事援助(ヘルパー) 14	量の見込み 訪問件数(件) 126 確保方策 訪問件数(件) 136	2-(2)-④

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画 番号	事業名	2021年度 事業計画	2021年度実績		2022年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】
			実績内容	実績値		
⑥	子育て短期支援事業 (ショートステイ)	量の見込み	●実施場所 3か所 ・福山乳児院 (2歳未満) ・こぶしヶ丘学園 (2歳以上) ・里親 (原則18歳未満)  ●利用状況 ・福山乳児院 4人 18日 ・こぶしヶ丘学園 7人 35日 ・里親 4人 16日	実績値	量の見込み	1- (2) -⑤
		利用量 (人日/年) 211		実施か所数 (か所) 3	利用量 (人日/年) 207	
		確保方策			確保方策	
		利用量 (人日/年) 215			利用量 (人日/年) 215	
⑦	ファミリー・サポート・センター事業 (子育て援助活動支援事業)	量の見込み	●依頼内容が多様化しているため、援助の希望を丁寧に把握し相互援助活動がスムーズにいくように努めた。 ●活動 延べ件数 2,588件 前年度 2,379件 主な活動は、保幼の迎え及び預かり、習い事等の援助、学童の送迎 ●2022年3月末会員数 依頼会員 745人 (694人) 協力会員 162人 (161人) 両方会員 73人 (65人) ( ) 内は、2021年3月末 ●さまざまな援助依頼に対応できるよう引き続き周知活動を行い、協力・両方会員の増員に努める。	実績値	量の見込み	1- (2) -③
		【低学年】利用量 (延人/年) 640		【低学年】利用量 (延人/年) 1,281	【低学年】利用量 (延人/年) 636	
		【高学年】利用量 (延人/年) 208		【高学年】利用量 (延人/年) 120	【高学年】利用量 (延人/年) 206	
		確保方策			確保方策	
		【低学年】利用量 (延人/年) 640			【低学年】利用量 (延人/年) 636	
		【高学年】利用量 (延人/年) 208			【高学年】利用量 (延人/年) 206	
⑧	一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり) 【1号認定による利用】 【幼児期の学校教育の利用希望が強い児童による利用】	量の見込み	●家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として日中に、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行った。なお、幼稚園の一時預かり事業は、幼稚園在園児を対象としており、保育所等の一時預かり事業は、保育所等を利用していない乳幼児を対象としている。  ●実施場所 48か所 (自主事業含む) ・公立幼稚園 9か所 ・私立幼稚園 4か所 ・公立認定こども園 2か所 ・私立認定こども園 43か所  ●保育所等による一時預かり ○保育所未入所児童の保護者の子育てを支援した。 ○実施場所 123か所 (自主事業を含む) ・保育所 (市立) 44か所 ・保育所 (私立) 20か所 ・認定こども園 (市立) 2か所 ・認定こども園 (私立) 41か所 ・地域型保育事業所 16か所 ・子育て支援施設 1か所 ●ファミリー・サポート・センター事業 ○延べ件数 2,588件 (2022年3月末) 前年度 2,379件 (うち就学前子どもの利用 1,187件) ○主な活動は、学童の迎え、習い事等援助、帰宅後の預かり ●トワイライトステイ事業 ○実施場所 1か所 こぶしヶ丘学園 (2歳以上) 0人 0日	実績値	量の見込み	1- (3) -①
		利用量 (延人/年) 147,375		利用量 (延人/年) 109,885	利用量 (延人/年) 169,500	
		確保方策			確保方策	
		利用量 (延人/年) 151,773			利用量 (延人/年) 173,717	
	一時預かり事業 (幼稚園における在園児を対象とした一時預かり以外)	量の見込み	●ファミリー・サポート・センター事業 ○延べ件数 2,588件 (2022年3月末) 前年度 2,379件 (うち就学前子どもの利用 1,187件) ○主な活動は、学童の迎え、習い事等援助、帰宅後の預かり ●トワイライトステイ事業 ○実施場所 1か所 こぶしヶ丘学園 (2歳以上) 0人 0日	実績値	量の見込み	1- (3) -①
利用量 (延人/年) 36,301		利用量 (延人/年) 16,247		利用量 (延人/年) 37,002		
確保方策				確保方策		
保育所による一時預かり (延人/年) 35,514		ファミリー・サポート・センター事業 (就学前) (延人/年) 785		トワイライトステイ事業 (延人/年) 2	トワイライトステイ事業 (延人/年) 2	
	延長保育事業 (時間外保育事業)	量の見込み	●実施場所 143か所 (自主事業含む) ・保育所 (市立) 44か所 ・保育所 (私立) 27か所 ・認定こども園 (公立) 2か所 ・認定こども園 (私立) 48か所 ・地域型保育事業 22か所	実績値	量の見込み	1- (3) -①
利用量 (人/年) 8,314		利用量 (人/年) 6,651		利用量 (人/年) 8,498		
		確保方策			確保方策	
		利用量 (人/年) 8,314			利用量 (人/年) 8,498	



地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策について

計画 番号	事業名	2021年度 事業計画	2021年度実績		2022年度 事業計画	次世代育成支援対策 推進行動計画 【施策の体系】
			実績内容	実績値		
⑩	病児保育事業	量の見込み 利用量（延人/年） 1,769 確保方策 利用量（延人/年） 6,300	●医療機関 4か所 ・橋高クリニック ・いぶき小児科 ・福山市民病院 ・おひさまこどもクリニック	実績値 利用量（延人/年） 1,076	量の見込み 利用量（延人/年） 1,774 確保方策 利用量（延人/年） 7,800	1- (3) -①
⑪	放課後児童クラブ事業 （放課後児童健全育成事業）	量の見込み 【低学年】利用量（人） 4,997 【高学年】利用量（人） 1,036 確保方策 【低学年】利用量（人） 4,997 【高学年】利用量（人） 1,036	●対象は市内の小学校に在学する6年生までの保護者が就労などにより昼間家庭にいない児童 ●開設時間 ・学期中 月～金曜日 下校時～18:00 土曜日 8:30～17:00 ・長期休業中 月～金曜日 8:30～18:00 土曜日 8:30～17:00	実績値 【低学年】利用量（人） 5,051 【高学年】利用量（人） 1,171	量の見込み 【低学年】利用量（人） 5,082 【高学年】利用量（人） 1,096 確保方策 【低学年】利用量（人） 5,082 【高学年】利用量（人） 1,096	1- (2) -⑥
⑫	実費徴収に係る補足給付を行う事業	量の見込み 利用量（人） - 確保方策 -	●施設等利用給付認定を受けた子どもの保護者に対して、保護者が支払うべき実費徴収額のうち副食費の一部を補助	実績値 利用量（人） 255	量の見込み 利用量（人） - 確保方策 -	
⑬	多様な事業者の参入促進・能力活用事業 【認定こども園特別支援教育・保育経費】	量の見込み 利用量（人） - 確保方策 年間受入人月数（人） -	●社会福祉法人が運営する幼保連携型認定こども園において、障がいのある1号認定子ども（※）を受け入れる場合に、職員の加配に必要な費用を助成することで、子ども一人一人の状態に応じた適切な教育・保育の提供を行う。 ※特別児童扶養手当の支給対象及びその他健康面、発達面において特別な支援が必要な子ども	実績値 利用量（人） 5	量の見込み 利用量（人） - 確保方策 年間受入人月数（人） -	